



十一月 (小) 霜月 尾宿

十一月七日立冬の節より
月命乙亥八白土星の月
暗剣殺東北方

旧 閏九月小
十月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	土	ひのえ	ね三碧	灯台記念日、教育文化週間、新米穀年度、計量記念日、不成就日、旧暦九月小	九	大安	みつ	氏	月とく	6.02	13.04	12.34	23.48
2日	日	ひのと	二黒	唐津くんち	十	赤口	たいら	房	十し	6.03	13.44	13.37	23.48
3日	月	つちのえ	一白	文化の日、明治神宮例祭、東京足立區沼不動万灯祭、小つち	十一	先勝	さだん	心	●	6.04	14.23	13.37	23.48
4日	火	つちのえ	九紫	京都松尾大社上卯大祭、消費者センター開設記念日	十二	友引	とる	尾	神よし	6.05	15.01	13.37	23.48
5日	水	かのか	八白		十三	先負	やぶる	箕	天おん	6.06	15.41	13.37	23.48
6日	木	かのか	七赤		十四	佛滅	あやぶ	斗	天おん	6.07	16.22	13.37	23.48
7日	金	みづのえ	六白	立冬二時〇七分、〇望七時二三分	十五	大安	あやぶ	牛	神よし	6.08	17.06	13.37	23.48
8日	土	みづのえ	五黄	世界都市計画の日、京都伏見稲荷火焚祭、ふいご祭	十六	赤口	なる	女	天おん	6.09	17.52	13.37	23.48
9日	日	きのか	四緑	一九番の日、太陽暦採用記念日、京都嵐山紅葉祭、京都空也堂開山忌、十方、れ入り、不成就日	十七	先勝	おさん	虚	●	6.10	18.42	13.37	23.48
10日	月	きのか	三碧	一の酉、一粒万倍日	十八	友引	ひらく	危	十し	6.11	19.34	13.37	23.48
11日	火	ひのえ	二黒	世界平和記念日、一粒万倍日	十九	先負	とる	室	五七日	6.12	20.27	13.37	23.48
12日	水	ひのと	一白	三隣亡	廿	佛滅	たつ	壁	大みやう	6.13	21.21	13.37	23.48
13日	木	つちのえ	九紫	秋の全国火災予防運動(9日~15日)	廿一	大安	のぞく	奎	くゑ日	6.14	22.15	13.37	23.48
14日	金	つちのえ	八白		廿二	赤口	みつ	婁	くゑ日	6.15	23.09	13.37	23.48

全国的な秋晴れはこの月に多いが、別称「霜月」といふように、北のほうから寒冷前線が下がってきて、局地的には天候が悪化したことである。

立冬がすぎると、駆け足で冬がやってくる。健康上や家事の上で冬を迎える準備に怠りのないようにチェックしよう。

【冠】十五日は「七五三」の宮詣りの日である。両親に連れられて、氏神様や名のある神社に参拝する日であるが、この「七五三」の慣行は歴史的にはそんなに古くはない。しかし女の子七歳(帯結び)、男子五歳(袴着け)は、それぞれ独立して格式高い家庭で行われていた。また、男児、女児の三歳は乳幼児期を無事に過ぎ、対する親心長するわが子に、少年期へ成長する息災と加福を祈る素朴な祈願が、近時はやたら

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
15日	土	かのか	七赤	下弦〇時一六分、七五三、本州・四国・九州一般鳥獣狩猟解禁	廿三	先勝	たいら	胃	大くわ	6.16	16.35	13.37	23.48
16日	日	かのか	六白		廿四	友引	さだん	昴	神よし	6.17	17.29	13.37	23.48
17日	月	みづのえ	五黄	奈良談山神社例祭、将棋の日、市川中山法華経寺御会式、不成就日	廿五	先負	とる	畢	大みやう	6.18	18.33	13.37	23.48
18日	火	みづのえ	四緑	天一天上	廿六	佛滅	やぶる	觜	ぢう日	6.19	19.34	13.37	23.48
19日	水	きのか	三碧	一茶忌	廿七	大安	あやぶ	参	神よし	6.20	20.47	13.37	23.48
20日	木	きのか	二黒		廿八	赤口	なる	井	大みやう	6.21	21.53	13.37	23.48
21日	金	ひのえ	一白	京都東本願寺報恩講(28日迄)、近松忌	廿九	先勝	おさん	鬼	●	6.22	22.27	13.37	23.48
22日	土	ひのと	九紫	小雲一八時三十分、豊川稲荷一秋大祭、防府天満宮禊祓祭、二の酉、一粒万倍日、旧十月大	朔	佛滅	ひらく	柳	十し	6.23	23.01	13.37	23.48
23日	日	つちのえ	八白	勤労感謝の日、熊本八代妙見祭、笠間稲荷献穀献餅祭、一粒万倍日	二	大安	とる	星	くゑ日	6.24	23.37	13.37	23.48
24日	月	つちのえ	七赤	振替休日、旧亥の子餅、炉開き、三隣亡	三	赤口	たつ	張	くゑ日	6.25	24.30	13.37	23.48
25日	火	かのか	六白	神道修成派教祖教霊大祭、不成就日	四	先勝	のぞく	翼	くゑ日	6.26	25.24	13.37	23.48
26日	水	かのか	五黄		五	友引	みつ	軫	五七日	6.27	26.18	13.37	23.48
27日	木	みづのえ	四緑		六	先負	たいら	角	大みやう	6.28	27.12	13.37	23.48
28日	金	みづのえ	三碧	東京品川千体荒神大祭、税関記念日、親鸞聖人忌	七	佛滅	さだん	亢	天火	6.29	28.06	13.37	23.48
29日	土	きのか	二黒	上弦一九時〇六分	八	大安	とる	氏	大みやう	6.30	28.50	13.37	23.48
30日	日	きのか	一白		九	赤口	やぶる	房	大みやう	6.31	29.44	13.37	23.48

に華美におごり、お祭り事になり、虚栄の観が強いのはどういふものか。

【祭】三日は「文化の日」、戦前は四大節の一つで「明治節」といい、明治天皇の誕生日である。その遺徳をたたえ文明・文化の記念日とした各地でいろいろな文化事業の催しが行われる。戦後、憲法の改正があつて呼称は変わった。

二十三日は「勤労感謝の日」で、勤労を尊び、生産を祝い、国民が互いに感謝しあう日と制定されている。

この月の干支(えと)による酉の日は「お酉さん」とも「酉の市」ともいって、鷲(おおとり)明神の祭祀が行われる。開運の神として一の酉、二の酉、三の酉、と盛大であるが、三の酉までである年は、活気がありすぎて火事が多いといえられてる。

この月の九日は「太陽暦採用記念日」である。これまででいえば旧暦という言葉がでてきたが、いま現在われわれが使っている何月何日という暦は、明治五年の十一月九日に採用された太陽暦以来である。